

暑い夏の到来

皆様、いかがお過ごしでしょうか。梅雨前、真夏のような暑い日が続き、もううんざりです。昨年暑も暑い日が続いて、逃げ出したい気持ちで我慢して過ごす、九月末には涼しい秋を迎える。そして十一月、寒い冬が到来して、一年の短さを感ずる今日この頃です。これも地球温暖化の影響で、地球が暑くなってきて、異常気象で、私たちの暮らしに影響を及ぼしています。

また、国では、安全保障の法案作りで熱い議論がなされています。いずれにしても暑い季節が到来です。

さて、お盆も、ひと月後にやってきます。お盆は亡くなった人が帰ってこられます。提灯に火を灯し、ご先祖様を家に迎え入れます。そしてご馳走を用意して、一年ぶりに帰ってきたご先祖様たちをおもてなし、八月十六日には送り火を焚いてお送りします。この習慣は、日本人の暮らしに幸せを享受できる行事であります。

先祖様を思うことは、今をどう生きるかを問いかけることではないかと思えます。先祖様は、生きるために智慧を出し、いきる力を蓄えて、家を相続されてきました。そして前向きになって、未来を信じてこられました。だから、私たちは、先祖様に見習って、自分らしい生き方を見出さなければならぬのではないのでしょうか。それがお盆を迎えることであります。

年に一度、お盆は、自分を高める行事であります。おもてなしをして、こころゆくまで、自分の道をきわめていただくことができ、みどりの秋を迎えられるのです。心身健康でお迎えなされますよう願います。



幸せはお隣さんのおすそわけ

木村

友達とケーキを食べにいったとしましょう。同じケーキを食べても、それをおいしいと思える人のほうが確実に幸せの人生です。もの喜びする人は幸福度も高いし、日頃質素な生活をしていれば、たとえ小さいことでも喜べる人間となり、プラス思考な生き方ができたりします。法華経を聞いたとき「ありがたや」と思うのか「ふーんあつそ」ですませてしまうのかによつてだいぶ生き方が変われると、「法華経法師品第十」に説かれています。お隣さんの幸せから、我が家の幸せを感じるものです。

行事予定



○墓回向参り

八月七日(金) 〓十二日(水)
午前五時〓十一時ごろ
八月十三日(木) 午前五時半〓 佐賀、午前六時半〓 上寺

○たな経 (檀家様の家に参ります)

八月十三日(木) 午後十三時〓二十一時
十四日(金) 午前六時〓二十一時
※仁和寺地区の皆様には、午前六時に変更しますのでよろしく願います

○お寺参り 八月十五日(土) 午前六時より

※香を薫じて、心清らかならなう、盆後、暮らしましょう

○盆施餓鬼会修行 十五日(土) 午後一時半

※初盆をお迎えの方、水子の霊などを供養しますので、お参りください。

○送り 十六日(日) 早朝 御詠歌で送る

※午前六時より、古い塔婆、古い御札を供養しますので、ご持参ください。

暮らしの豆知識

塩分の取り過ぎに気をつけて、カロリーコントロールで健康な体で暮らしましょう。

何をするのもおつくうになつて...

漢字で「億劫」と書きます。「劫」とは、高さの横の長さが四十里(百六十キロメートル)四方の城に芥子の実で満たし、そこから三年ごとに一粒ごと取り去り、すべてを取り尽くすまでの非常に長い時間をいいます。人は誰でも年をとると何かと億劫になりがちです。億劫は、そもそも仏教の言葉で「おくう」と読みます。それが詰まると「おつくう」となつたとされています。億劫は「億」と「劫」という言葉からできています。

人生でいうと、あまりにも長くてやりきれないことから、「面倒くさい」、気がすすまないことを意味するようになりました。

しかし、私たちの一生は現実にはいつ果てるとも知れないはかないものです。かけがえのない人生、何事も「おつくう」がらずに前向きに取り組むたいものです。

信仰とは

信仰は、苦悩の束縛を解脱して、自由と快楽に安住することである。人智は未完成のために、事に当りて、徒に苦悩し、遂には自他の損害を招くことになる。「如何なる境地に墮しても悠々また堂々、あたかも波濤を乗り切る巨船のようであれば、樂土の安住する真人と言えよう。」と、故大西良慶師はと言われます。まさに信仰は、私たちが元気にしてくれるものです。煩惱を少なくすれば、悩むことなく、元気に生きられるのであります。

お願い

今年もお盆をまもなく迎えます。皆様のご先祖様の墓地の清掃ですが、暑いときですが、ご奉仕くださいますようよろしくお願い致します。

座禅とは

人間は、どうしても自分中心に、ものごとを考えてしまいます。

自分が得する行動すなわち”我”が発生します。我を通そうとすることで、そこに悩みや、怒り、恨み、嫉妬心、そして欲が、といったいわゆる煩惱が心に発生して苦しむのです。

その苦しみから解放されるのが座禅修行です。人は皆、清らかな心で穏やかに暮らしたいと願うものです。

座禅修行を体験してみませんか。希望される方は、おたずねください。

びんずる会

この会は、足ることを知って、奉仕、座禅、写経を楽しみます。心身一体健康生活を目指します。

どなたでも入会できます。詳しくは、住職まで、ご一報ください。

第八回法話会

八月三十日(日)午前八時半〓九時
場所 玉泉寺本堂

※どなたでも聞きに来られますので、日々暮らしに役立ててください。

発行

高島市安曇川町田中三四五玉泉寺 木村哲基
電話 (〇七四〇) 三三・〇七九一
携帯 〇九〇・三七〇八・七二〇六
メール syka37375@letto.eonet.ne.jp
「天台真盛宗玉泉寺」のホームページに住職日記を更新しています。